

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料6
提出年月日	令和4年11月10日

泊発電所3号炉 ヒアリングにおける指摘事項に対する回答一覧表  
(技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項(可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルート))

ID	No	指摘事項の内容	審査日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
220711-02	1	P21盛土道路はアクセスルートの成立性および防潮堤への波及的影響の観点を踏まえて設置許可段階で方針を説明すること。 【第389回ヒアリング 防潮堤の設計方針について(防潮堤平面線形形状(海側線形)に係る指摘事項回答)】	R4.7.11	本日一部説明		盛土道路のアクセスルートとしての成立性のうち、段差及び傾斜に関する評価方針については、ID:221018-07と同じ。	盛土道路のアクセスルートとしての成立性のうち、段差及び傾斜に関する評価方針については、ID:221018-07と同じ。	
						斜面に関する評価方針及び成立性については、今後ご説明する。		斜面の評価方針の回答予定時期については、検討中 斜面の成立性については、2023年9月の審査会合で回答予定(ヒアリング資料提出は2023年7月予定)
221018-01	2	法肩にある展望台の損壊が保管場所及びアクセスルートに与える影響について、損壊した構造物が滑落する可能性を含め整理して説明すること	R4.10.18	本日回答		法肩にある展望台が損壊した場合、損壊した構造物が斜面を滑落して可搬型設備に影響を与える又はアクセスルートの障害となる可能性があることから、展望台については損壊した構造物が斜面を滑落しないよう減築又は撤去する方針であることを記載した。	資料1「泊発電所3号炉 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」 P.24, 34  資料2『泊発電所3号炉「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料1.0 重大事故等対策における共通事項』 ■添付資料1.0.2 P.1.0.2-48, 76	
221018-02	3	斜面の地震時の安定性評価における評価対象断面の選定について、斜面高さや勾配等の影響要因の比較による定量的な評価だけでなく、定量的な評価の結果も踏まえ、選定の考え方を整理して説明すること	R4.10.18	後日回答予定		斜面の地震時の安定性評価における評価対象断面の選定について、斜面高さ、勾配等の影響要因の観点に加え、定量的な評価も含めた比較検討を実施した上で、評価対象断面の選定結果を今後ご説明する。		回答予定時期については、検討中
221018-03	4	グループAの検討断面について、敷地の特徴を踏まえた地質断面図を追加した上で、地質・地質構造、斜面高さ等を踏まえた代表性のある断面の選定の考え方を整理し、説明すること	R4.10.18	後日回答予定		グループAの検討断面について、敷地の特徴を踏まえた地質断面図を追加した上で、地質・地質構造、斜面高さ等を踏まえた代表性のある断面選定結果を今後ご説明する。		回答予定時期については、検討中
221018-04	5	盛土をコンクリートに置き換える範囲のアクセスルートについては、盛土斜面の影響も含め、地震による被害の影響を受けないよう設計する等の方針を整理し、説明すること	R4.10.18	後日回答予定		盛土をコンクリートに置き換える範囲のアクセスルートの設計方針については、今後ご説明する。		回答予定時期については、検討中

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料6
提出年月日	令和4年11月10日

泊発電所3号炉 ヒアリングにおける指摘事項に対する回答一覧表  
(技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項 (可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルート))

ID	No	指摘事項の内容	審査日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221018-05	6	敷地下傾斜のすべり範囲設定の保守性・妥当性について、先行審査実績等を踏まえて整理して説明すること 崩壊前・崩壊後が分かるように図面を追加すること	R4.10.18	本日一部説明		敷地下斜面のすべり範囲設定の保守性・妥当性について、先行審査実績等を踏まえた整理結果を今後ご説明する。		敷地下斜面のすべり範囲設定の保守性・妥当性については、2023年9月の審査会合で回答予定 (ヒアリング資料提出は2023年7月予定)
						51m倉庫車庫エリアからのアクセスルートの周辺斜面の崩壊前と崩壊後のそれぞれについて概要図を作成した。	資料1「泊発電所3号炉 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」 P.44  資料2『泊発電所3号炉「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料1.0 重大事故等対策における共通事項』 ■添付資料1.0.2 P.1.0.2-別紙13-28	
221018-06	7	側方流動の検討断面として選定した①-①断面について、代表性を整理して説明すること。	R4.10.18	本日回答		側方流動による影響があると考えられる水際線よりおおむね100mの範囲に位置するアクセスルートから、A-A'エリアを検討対象範囲として選定することとした考え方を記載した。また、そのエリアにおいて埋戻土層厚が厚い箇所を抽出し、周囲に防潮堤や耐震性を有する構造物があり、側方流動が抑制されることが想定される箇所を除外した結果、地点①が選定されることを記載した。	資料1「泊発電所3号炉 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」 P.51～52  資料2『泊発電所3号炉「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料1.0 重大事故等対策における共通事項』 ■添付資料1.0.2 P.1.0.2-123～125	
221018-07	8	盛土道路の下部の埋戻土が液状化、沈下することによる盛土道路の挙動・変形等を踏まえ、段差等の評価方針を示すとともにアクセスルートとしての成立性を整理し説明すること	R4.10.18	本日一部説明		盛土構造による道路部において、T.P.+10.0m盤以下に埋戻土が分布していることを踏まえ、基準地震動による有効応力解析を実施し、埋戻土の液状化の影響を考慮した段差及び傾斜の評価を行う方針とした。	資料1「泊発電所3号炉 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」 P.50  資料2『泊発電所3号炉「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料1.0 重大事故等対策における共通事項』 ■添付資料1.0.2 P.1.0.2-121～122	成立性の評価結果については2024年6月の審査会合で回答予定 (ヒアリング資料提出は2023年4月予定)

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料6
提出年月日	令和4年11月10日

泊発電所3号炉 ヒアリングにおける指摘事項に対する回答一覧表  
(技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項 (可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルート))

ID	No	指摘事項の内容	審査日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221020-01	9	ホイールローダの移動速度について、1速のカタログ値を適用することの妥当性について説明すること。	R4.10.20	本日一部説明		ホイールローダの走行速度の検証試験を実施し、1速の速度について確認した。	資料1「泊発電所3号炉 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」 P.57～58  資料2『泊発電所3号炉「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料1.0 重大事故等対策における共通事項』 ■添付資料1.0.2 P.1.0.2-補足5-2 P.1.0.2-補足23-1	
						今後、検証試験結果を整理し、ホイールローダの移動速度として適用する値についてご説明する。		2022年12月6日の審査会合資料で回答予定 (審査会合資料は2022年11月24日に提出予定)

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。